



ほけんだより



2024年12月
学校法人織田学園
おだ認定こども園

感染症情報は、[れんらくアプリ](#)
『園からのお知らせ』参照

11月は長引く咳と発熱でマイコプラズマ感染症、急な高熱でインフルエンザA型と診断されるお子さんがいました。手足口病も流行し、発熱を伴う大きめの発疹が手足や口の中にでき、食べられない、歩けないといった症状でお休みされるお子さんも多く、ご心配をおかけしました。手足口病は発熱がなく普段の食事ができれば登園可能で、発しんが消えた後も3~4週間便にウイルスが排泄されます。引き続き、園でも基本の感染症対策を行っていきますが、トイレ後・食事前の手洗いや咳エチケットなど、自分で自分の身を守る方法は、周囲の大人も一緒になって子ども達にお手本を見せ、良い習慣作りをしていきたいですね。
☆11月の感染症報告：マイコプラズマ感染症、インフルエンザA、手足口病、ヘルパンギーナ、他

●「手荒れ予防」のケアは、お風呂の後と登園前が効果的！●

●しもやけは寒さが原因

しもやけは、手足が冷えて血行が悪くなるために起こります。特に、雪遊びなどで冷たくぬれた状態が長時間続いたときに、起こりやすいようです。



しもやけ

●お湯で温める

しもやけの部分をぬるま湯につけて、血行をよくします。小さな子どもなら、そのまま入浴させてもよいでしょう。また、しもやけ予防のためには、ぬれた手袋や靴下をそのままにせず、乾いたものにかえましょう。



●あかぎれは乾燥が原因

空気が乾燥すると、皮膚のうるおいも失われます。特に手は外気に触れやすく、手洗いで乾燥しがち。手の甲ががさがさしたり、ひどいときはひびわれができて血が出たりします。



あかぎれ

●ハンドクリームなどで保湿する

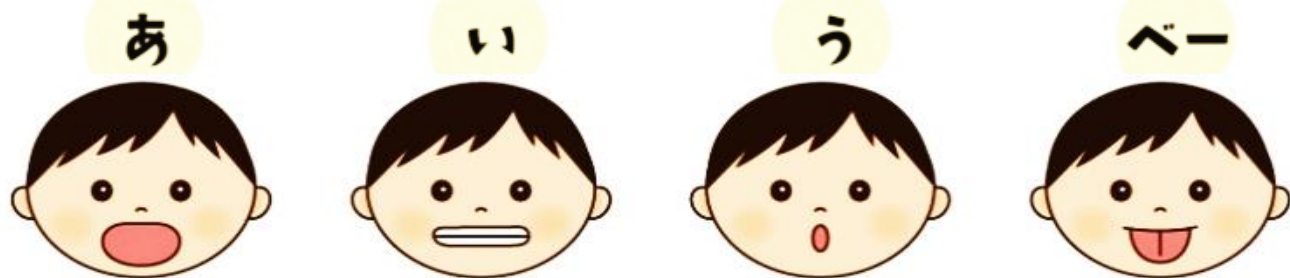
手を洗ったら、あかぎれの治療と予防をかねて、クリームで保湿します。あかぎれをこすると痛むので、やさしく塗ってあげましょう。



●園の手荒れの応急手当て：夕方園庭で手が冷たく痛む時等『ワセリン』『ピオレうるおいミルク無香料』で保湿をします。使用を控えたい方はお知らせください。また症状により医師処方薬の預かり対応をします。手続きは事前に担任とご相談ください。市販薬の預かり・園児の薬品やリップ等の自己管理はできません。

●かぞくみんなで「あいうべたいそう」●

顔、特に口の周りの筋肉を鍛え、鼻呼吸にすると、感染予防・虫歯予防・ことばの発達等に良いと言われています。『あいうべたいそう』は1日30回が目安。最後に『ん』と口を閉じ、鼻かみの習慣につなげます。



- ①「あー」と
くちをおおきくあける
- ②「いー」と
くちをよこにひろげる
- ③「うー」と
くちをまえにつきだす
- ④「べー」と
したをしたにのぼす

